**サギとシラサギ**

**Great egret / *Ardea alba* / Dai-sagi / ダイサギ**
ダイサギは名前の通り、84～94cmの大型の白い鳥で、長く力強いくちばしを持ち、繁殖期には黒く、その他の時は黄色い。奄美大島で越冬し、長い特徴的なS字の首で岩礁や海水が溜まる干潟、田んぼ、沼で魚やカエル、その他の水生動物を採餌する。チドリとは違い、ダイサギは移動速度が遅く、獲物が近づくまで立って待ち、短剣のようなくちばしで仕留める。飛ぶときは空気抵抗の少ないように首をたたみ、脚は体からほぼ真直ぐ伸ばしたまま飛ぶ。

**Pacific reef egret / *Egretta sacra* / Kuro-sagi / クロサギ**
クロサギはアジアから日本の南部に分布し、英名はパシフィックリーフエグレット、イースタンリーフエグレットまたはパシフィックリーフヘロンとも呼ばれる。奄美大島では、サンゴ礁やマングローブ林で見ることができる。体長58～66cmの中型のサギで、短い首と脚をもち、全身白かもしくは濃い青みを帯びた黒の二種類がいるため、和名のクロサギがつけられた。基本単独で狩をし、首を引いてしゃがんだ体制で、頭を素早く動かし、獲物を刺すのが特徴。